

## 平成 25 年度北海道農業土木協会賞「奨励賞」の受賞について

小出 展久

さけます・内水面水産試験場 竹内勝巳研究主幹は、これまで内水面資源部において経常研究あるいは内水面増養殖技術指導等に関連して農業関係者と共同で実施してきた農業用施設整備に係わる魚類調査経過について、一般社団法人北海道農業土木協会主催の第 29 回農業土木新技術検討報告会（平成 24 年 11 月 14 日）で発表しました。同協会の農業土木協会賞表彰事業規程に則し、当該報告事案が審査対象となり、平成 25 年 7 月 31 日における表彰委員会の審議の結果、平成 25 年度北海道農業土木協会賞（奨励賞）に決定し、平成 25 年 8 月 30 日に北海道農業土木協会賞表彰式に出席しました。

【受賞者】 さけます・内水面水産試験場  
内水面資源部 研究主幹 竹内勝巳

【受賞業績題目】 振興局と連携して実施している  
農業用施設整備に係わる魚類調査

【北海道農業土木協会賞】一般社団法人北海道農業土木協会における賞には、北海道農業土木協会賞優秀賞、奨励賞の 2 種があります。農業土木協会賞表彰事業規程第 1 条（趣旨）において「本道の農業農村の整備を進めるにあたり、当協会が定款 3 条で定める目的の趣旨に沿って、調査・研究・計画・実施及び制度改善等に大きな功績があり、農業農村整備事業の推進と農業土木技術及び事務の向上に寄与した者、又は寄与すると認められた者を表彰する」とし、平成 4 年度以降、本事業が実施されています。なお、平成 25 年度は優秀賞の該当はありませんでした。

【受賞理由】さけます・内水面水産試験場においては、平成 18 年度以降、石狩、空知、日高振興局管内において農業農村整備事業予定地区を対象として継続的に魚類調査を実施してきました。「環境との調和に配慮」した農業農村整備事業を進めるにあたり、動植物の生態環境を保全する施設設計・施工に努力しているとはいえ、竣工後の状態・状況を検証する機会が少ないのが現状です。そうした中において、魚類の研究者による調査結果の報告内容は、農業土木に携わる技術者に極めて有益な示唆を与え、今後の農業農村整備事業にも大きく貢献するものと評価されることから、農業土木協会賞「奨励賞」に相当すると認められました。

### 【受賞業績内容】

以下の 2 件が対象となりました。

- (1) 空知管内石狩川水系徳富川の上徳富第 2 幹線  
頭首工に整備された魚道の効果確認調査
- (2) 日高管内平取北地区の魚類の生息に配慮した  
排水路整備による魚類への影響調査

（内水面資源部長 こいで のぶひさ）



写真 受賞記念写真

前列： 中央；長澤委員長、右；前山農業土木協会長、  
右から 2 番目；竹内主幹、受賞者の皆様  
後列： 委員の方々